

## 産業厚生常任委員会所管事務調査報告書

### 第1 調査事項

花嫁対策について

### 第2 調査期日及び場所

平成30年 8月 7日 ①苫小牧信用金庫本店 7階 会議室  
8月 7日 ②新冠町役場 3階 議会委員会室

### 第3 参加者

士幌町議会 産業厚生常任委員会

委員長 中村 貢

副委員長 大西 米明

委員 清水 秀雄、出村 寛、河口 和吉

①苫小牧信用金庫 上席業務執行役員 本庄 博史、主席調査役 佐瀬 英明  
企画推進役 今田 和史

②新冠町 産業課長 島田 和義、産業課産業グループ農産係長 小松 祐貴  
議会議長 芳住 革二、議会事務局長 佐渡 健能

③士幌町 議会事務局長 矢野 秀樹、地方創生担当課長 石垣 好典

### 第4 調査の経過

本町では、現在、婚活活動を行っている団体は2団体あるが、近年は参加者も少なく、ほとんどが婚活イベント会社に委託している。最近は、カップリングまではいくが成婚には至っていないのが現状である。

本町も、少子高齢化をむかえ町内独身者、男女88名の未婚農業従事者のためにも、何らかの新たな対策が必要であることから、花嫁対策の取り組み等について調査を実施した。

#### ①苫小牧信用金庫

とましん結婚相談所「LLB会」(LLB=ラブラブブライダルの略)は、平成25年6月3日に開設し、地元で結婚を望む方々にお見合いから交際までのお手伝いを通して、良きパートナーとの出逢いと結婚へのサポートを行い、若い世代の人口増加と、地域の活性化に貢献したいとの思いから設立された。

入会資格は、苫小牧信用金庫の取引先の方・法的にも実生活上においても独身の方・結婚したいという明確な意思のある方・反社会的勢力では無いこととなっている。

また、会員期間は、入会日から3年間(延長可能)で、入会に必要なものは、当庫制定書式(入会申込書・プロフィール・誓約書)・戸籍謄本または独身証明書・所得証明書・最終学歴の卒業証書・写真・入会預り金(1万円)となっており、入会申込時の確認事項も独身の確認・学歴の確認・所得の確認・本人確認・反社会的勢力の有無等厳しくなっている。

平成30年6月末実績での会員登録数は、男性240人・女性272人の合計512名で、男女とも30代40代が多い。実績では、交際相手の紹介1,100回、お見合いの実施482回、お見合いから交際に発展したカップル335組、結婚または結婚を決めたカップル41組、結婚を前提とした交際中のカップル10組、子どもが生まれたご夫婦5組となっている。平成30年8月1日には、20～30歳代の方の結婚30組が達成されている。

とましん結婚相談所「LLB会」は、地域結婚支援事業として平成27年度 苫小牧市、苫小牧商工会議所、平成28年度 むかわ町、厚真町、白老町、白老町商工会、平成29年度 新冠町と連携協定を締結している。

連携事項としては、

- ①結婚を希望する独身男女に対し、結婚の機運を高める。
- ②婚活パーティーなどの事業を促進する。
- ③広報活動を通じて、この事業を促進する。
- ④連絡推進会議等により協議・連携して取り組むものとするなどである。

また、信金ネットワークを広げ、平成28年12月 旭川信金に「結婚相談所アエール」・平成29年6月には帯広信金に「結婚相談所 おびしんキューピット」がそれぞれ設立された。

今後も、多くの自治体と協定を結び、会員登録をしていただき地域貢献に努めていく考えである。

## ②新冠町

慢性的な農業後継者不足を背景に軽種馬産業を中心に産業後継者対策及び労働力不足対策のため、各種産業団体で構成する協議会を発足させ、平成2年度から農業体験実習制度を開始した。

町・農協・魚組・商工会・農業委員会・教育委員会・普及センター等で構成し、事務局は町産業課とし専属の相談員を配置する。

独身女性を対象とした農業体験実習生を募集し、実習活動の中で独身後継者との交流機会を設定し、間接的な花嫁対策を実施する。

平成2年度から平成22年度までの実績は、受入れ人数218人、結婚者数23組で一定の成果はあったものの実習希望者、交流会等参加男性の減少、結婚実績等の費用対効果から、本事業の役割を終えたものと考え事業の取りやめ協議会を解散するに至った。

平成27年度から平成28年度には、依然として後継者不足が解消されないことから、行政主導による婚活イベントを実施した。

実績は、成果なしで終わった。費用対効果の問題や、参加女性の結婚に対する意識の温度差等が原因と考えられる。

節目と捉えていた3度目の婚活パーティー開催にあたり、苫小牧信金『とましん結婚相談所「LLB会」』の情報を入手、共同事業の可能性を協議し平成29年10月に連携協定を締結した。

これにより、平成30年度に男性5名と女性4名の婚活パーティーを開催し、2組のカップルが成立し4人の男性が会員登録した。

新冠町にとっては、町の費用負担も少なく行政コスト低減が可能であり、事務的負担も軽減される。LLB会員女性であるため、結婚に対する意識が非常に高く、参加男性の評価も高い。

苫小牧信金『とましん結婚相談所「LLB会」』と協議が整えば、イベント的な事業も可能であり、今後の成果が期待される。

新冠町としては、会員登録件数が増えていないため今後、効果的な広報活動が必要であり、農業後継者のみならず、一般町民全体を対象とした事業展開が必要である。

士幌町と同じように、多くの花嫁対策を実施してきたが、現実には厳しく費用対効果を考えると、成果は得られていない状況である。

また、独身男性の結婚に対する意識が弱く現状に納得している傾向がある。独身女性も真剣に結婚を考えていない観光気分の参加者が多いのも見受けられる。

これらから、苫小牧信金『とましん結婚相談所「LLB会」』との連携協定締結は、新冠町にとって大きな救いとなっている。

なお、平成29年度は連携協定を締結したが、事業の取り組みはなく会員登録もなかった。

今後は、苫小牧信金『とましん結婚相談所「LLB会」』と協議会を立ち上げ、互いに協力し合って新冠町の少子化対策等に全町あげて取り組んでいきたい。

## 第5 所 感

帯広信用金庫「結婚相談所 おびしんキューピット」(以下「おびしんキューピット」)の紹介により、苫小牧信用金庫『とましん結婚相談所「LLB会」』(以下『とましん結婚相談所「LLB会」』)及び、新冠町の所管事務調査を実施した。

『とましん結婚相談所「LLB会」』の地域貢献活動は、近隣市町村・商工会議所・商工会等との連携協定締結により、地域に密着した役割を担っている。

特に、新冠町等各自自治体にとっては『とましん結婚相談所「LLB会」』が中心となっ  
て行う婚活パーティーの設定や、会員女性紹介が花嫁対策の推進に繋がる事業となっ  
ている。

十勝管内各市町村・農協・商工会議所・商工会等も『とましん結婚相談所「LLB会」』  
のように、『おびしんキューピット』と連携協定を締結し、地域の婚活支援や会員登録  
の拡充を図るなど、お互いが協力することで地域が発展していく事業へ展開すべきと考  
える。

それが、少子化・花嫁対策の取り組み等に繋がると考えられることから、その先駆け  
として、先月21日に士幌町・士幌町商工会・士幌町農業協同組合・帯広信用金庫が「士  
幌町結婚支援事業」の連携に関する協定を締結したところである。

今後は、帯広信用金庫「結婚相談所 おびしんキューピット」との連携を活用し、将来  
に向けた少子化・花嫁対策の解決に少しでも繋がるものと期待したい。